



コマンドを作成します

OnCommand Workflow Automation

NetApp
October 09, 2025

目次

コマンドを作成します	1
予約スクリプトでコマンドをテストします	3

コマンドを作成します

タスクに適した定義済みの WFA コマンドがない場合は、WFA コマンドを作成してワークフロー内の特定のタスクを完了できます。

必要なもの

PowerShell または Perl を使用して、コマンドに必要なコードを記述する方法を理解しておく必要があります。

手順

1. [* ワークフローデザイン > コマンド *] をクリックします。
2. をクリックします  をクリックします。
3. [新規コマンド定義 * (New Command Definition)] ダイアログボックスの [* プロパティ * (* Properties *)] タブで、[* 名前 * (* Name *)]、[* 概要 * (* Timeout *)]、および [* タイムアウト * (* Timeout *)] フィールドに必要な詳細を入力
 - a. [*String Representation *] フィールドに、MVEL 構文を使用してコマンドの文字列表現を入力します。
「 + VolumeName + " ⇒ " + " SnapshotName + "」

コマンドの文字列表現を使用して、計画および実行時にワークフロー設計で表示する情報を表示します。コマンドの文字列表現では、コマンドのパラメータのみを使用する必要があります。

- a. * オプション： * 待機コマンドを作成している場合は、* コマンドタイプ * セクションで * 待機状態 * を選択し、* 待機間隔 (s) * フィールドに必要な値を設定します。

4. [コード *] タブで、次の手順を実行します。
 - a. コマンドに必要なスクリプト言語を * スクリプト言語 * リストから選択します。
[+] をクリックして、コマンドの追加言語を選択できます。
 - b. [選択した言語] タブにコマンドの適切なコードを入力します。

PowerShell スクリプトでユーザ入力にパスワードタイプを使用する場合は、パラメータのエイリアスを作成し、属性に「_Password」を含める必要があります。Perl スクリプトの場合は、* パラメータ一定義 * (Parameters Definition) タブで、タイプを * パスワード * として指定できます。



コマンドエディタでは、「<」、「&」、「XML タグ」 <> という特殊文字はサポートされていません。

```
param (  
    [parameter(Mandatory=$false, HelpMessage="Specify an AD administrator  
    password.")]  
    [Alias("ADAdminPassword_Password")] [string]$ADAdminPassword  
)
```

5. [パラメーター定義 (* Parameters Definition)] タブで、次の手順を実行します。

- パラメータ定義テーブルに値を入力するには ' パラメータ検出 (Discover Parameters) * をクリックします

パラメータとその属性はコードから抽出され、表に表示されます。たとえば、Array パラメータと VolumeName パラメータは次のコードから抽出されます。

```
param (
    [parameter(Mandatory=$true, HelpMessage="Array name or IP address")]
    [string]$Array,
    [parameter(Mandatory=$true, HelpMessage="Volume name")]
    [string]$VolumeName,
)
```

- パラメータの概要 列をクリックして、概要 を編集します。

このタブで他のフィールドを編集することはできません。

6. [* パラメーターマッピング * (* Parameters Mapping *)] タブで、パラメーターごとに次の手順を実行します。

- [* タイプ * (* Type *)] 列から、適切な辞書オブジェクトを選択します。
- [* 属性 * (* Attribute *)] 列で、リストからディクショナリオブジェクトの適切な属性を入力または選択します。

属性を入力したら、ピリオド (.) を入力し、そのオブジェクトの別の属性を含めることができます。

type に「 cm_storageVolume 」を、 AggregateName パラメータの属性に「 aggregate.name 」を入力します。

- [* オブジェクト名 * (* Object Name *)] 列に、オブジェクト名を入力します。

オブジェクト名は、ワークフローでコマンドの詳細を指定するときに、 [<コマンド> のパラメータ] ダイアログボックスのタブの下にパラメータをグループ化するために使用されます。

ワークフローでコマンドの詳細を指定する場合、 [コマンドパラメータ] ダイアログボックスの [他のパラメータ *] タブにマップされていないパラメータが表示されます。

7. 予約 * タブで、 SQL クエリを使用して予約スクリプトを入力し、スケジュールされたワークフローの実行中にコマンドで必要なリソースを予約します。

- * オプション： * 予約リプレゼンテーション * フィールドに、 MVEL 構文を使用して予約の文字列表現を入力します。

SnapMirror ラベルのルールを追加します

「 SnapMirrorLabel[.code] 」を SnapMirror ポリシー 「 」 に割り当てます

" + PolicyName + " ";

ストリング表現は、予約ウィンドウで予約されているリソースの詳細を表示するために使用されます。



データベースに対して、cm_storage、cm_performance、storage、performance、vc以外の操作を実行しないでください。およびカスタムスキーム。

8. * オプション： * Verification * タブで、SQL クエリを入力して、コマンドがデータソースと WFA キャッシュに影響を及ぼしていないかどうかを確認し、予約を削除できるようにします。

入力する SQL クエリは 'SQL SELECT 文だけで構成できます

- a. 検証スクリプトをテストするには、[検証のテスト] をクリックします。
- b. [* Verification] ダイアログボックスで、必要なテストパラメータを入力します。
- c. 予約データを使用して検証スクリプトをテストしない場合は、[テスト * で予約データを使用する] フィールドをクリアします。
- d. [* テスト *] をクリックします。
- e. テスト結果を確認したら、ダイアログボックスを閉じます。

9. * Test * をクリックしてコマンドをテストします。
10. * テストコマンド <コマンド名>* ダイアログボックスで、* テスト * をクリックします。

テストの結果は、ダイアログボックスのログメッセージセクションに表示されます。

11. [保存 (Save)] をクリックします。

予約スクリプトでコマンドをテストします

OnCommand Workflow Automation (WFA) コマンド用に開発した予約スクリプトをプレイグラウンドデータベースでテストすることで、スクリプトが正常に動作していて WFA データベーステーブルに影響していないことを確認できます。

このタスクについて

WFA のデフォルトのインストールパスは、この手順で使用されます。インストール時にデフォルトの場所を変更した場合は、変更した WFA のインストールパスを使用する必要があります。

手順

1. WFA サーバでコマンドプロンプトを開き、ディレクトリを「c:\Program Files\NetApp\WFA\mysql\mysql\bin」に変更します
2. 次のコマンドを使用して、WFA データベースのダンプを作成します。 `mysqldump -u wfa -pWfa123 --single-transaction --skip-add-drop-table database-tables > dump_location`
cm_storage データベーステーブルのダンプを作成するコマンド： `mysqldump -u wfa -pWfa123 --single-transaction --skip-add-drop-table cm_storage > c:/tmp/cmSt2.sql`
3. 次のコマンドを使用して、作成したダンプを WFA のプレイグラウンドデータベースにリストアします。 「`mysql -u wfa -pWfa123 遊び場 <dump_location`」

「mysql -u wfa -pWfa123 プレイグラウンド」 <c : \tmp\cmSt2.sql

4. WFA コマンドを作成または編集し、予約スクリプトを「* Reservation *」タブに書き込みます。

予約および検証スクリプトでプレイグラウンドデータベースのみが使用されていることを確認する必要があります。

5. ワークフローを作成または編集し、ワークフローにコマンドを含めてから、ワークフローを実行します。

6. リザベーションスクリプトと検証スクリプトが想定どおりに動作していることを確認します。

WFA のデータソースの取得プロセスでプレイグラウンドデータベースが更新されない。コマンドで作成した予約は手動で削除する必要があります。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。